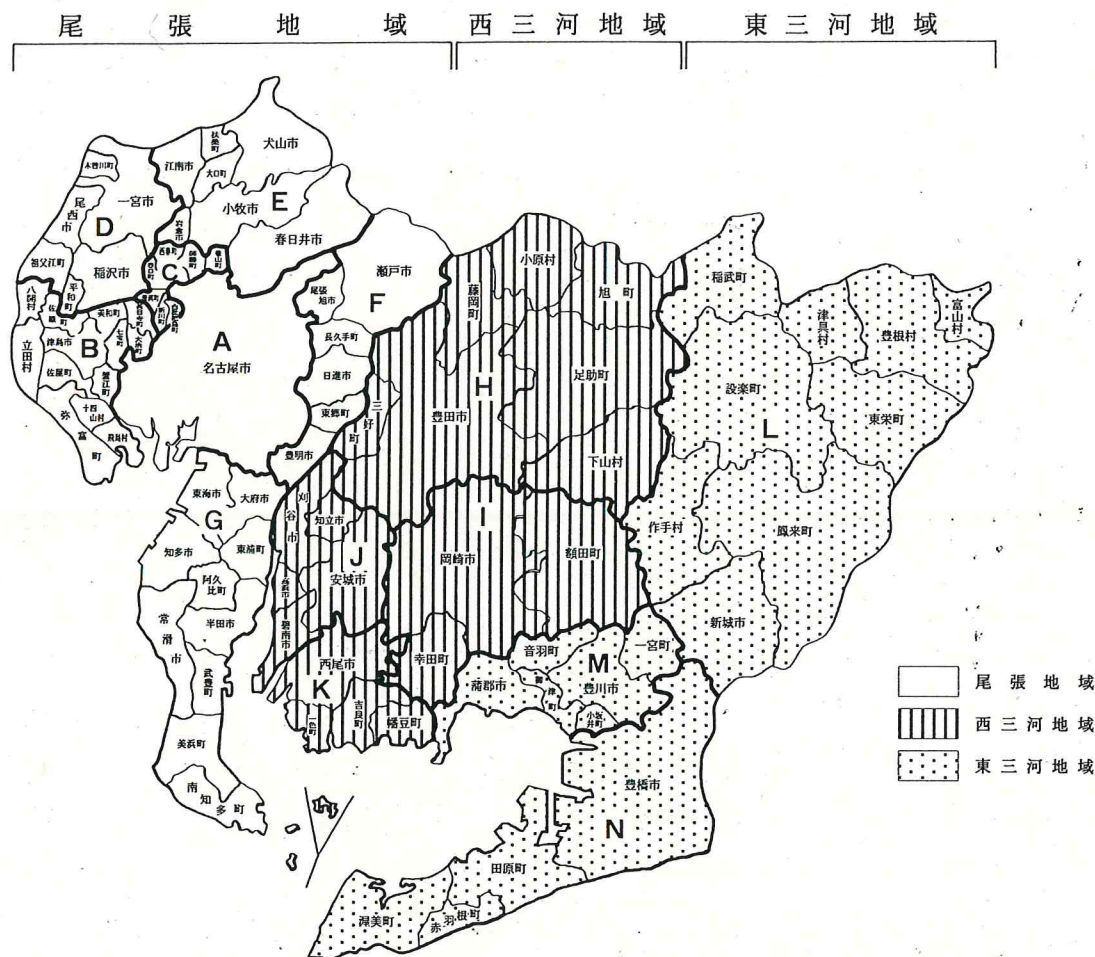


利 用 上 の 注 意

1. 本書は、「愛知県人口動向調査」によって得た本県の人口及び世帯に関するデータのうち、平成2年10月から平成7年9月まで（毎月1日現在の人口及び世帯数については、平成2年11月1日から平成7年9月1日まで）の5年分について、平成7年国勢調査結果に接続するよう数値を改定し、平成7年国勢調査結果（確定値）と併せて収録したものです（改定値算定の方法については、P164「改定値の算定について」参照）。
2. 今回改定した数値は、次のとおりです。
 - (1) 人 口 …… 平成2年国勢調査の結果数値を基礎に、その後の毎月の異動数を加減した数値（推計値）より平成7年国勢調査結果数値（確定値）が、20,597人少ないため5年間に割り振って遡及改定しました。
 - ア 各月1日現在の市区町村、男女別人口及び4月1日、10月1日現在の市区町村、年齢（各歳）、男女別人口
 - イ 各月の社会増減数のうちその他の増減数及び総増減数・社会増減数（その他の増減数の改定による）。
 - (2) 世帯数 …… 平成2年国勢調査の結果数値を基礎に、その後の毎月の異動数を加減した数値（推計値）より平成7年国勢調査結果数値（確定値）が、18,159世帯少ないため5年間に割り振って遡及改定しました。
 - ア 各月の1日現在の世帯数
 - イ 各月の増減数
3. 本書に掲載した改定値は、次のとおりです。
 - (1) 市区町村、男女別人口及び世帯数（平成2年11月～平成7年9月の各月1日現在）並びに増減数（平成2年10月～平成7年9月の各月）
 - (2) 愛知県の年齢（各歳）、男女別人口（平成3年～平成6年の4月1日現在及び10月1日現在並びに平成7年4月1日現在）
また、市区町村、年齢（各歳）、男女別人口の改定値（平成3年～平成6年の4月1日現在及び10月1日現在並びに平成7年4月1日現在）の関係市町村分については、それぞれ当該市町村へも送付してあります。
4. 日進町は平成6年10月1日の市制施行により日進市となりました。従って表章を統一するために平成2年11月～平成6年9月の日進町の人口等を、日進市として表章しました。
これにより同期間の市部・郡部・愛知郡の各集計は日進町を日進市として集計してあります。

5. 本書における地域及び地区は、「愛知県21世紀計画」の区分に従って下記のとおりとしています。



尾張地域	西三河地域	東三河地域
A 名古屋地区 〔名古屋市〕	H 豊田・加茂地区 〔豊田市 三好町 藤岡町 小原村 足助町 下山村 旭町〕	L 新城・南北設楽地区 〔新城市 設楽町 東栄町 豊根村 富山村 津具村 稲武町 鳳来町 作手村〕
B 海部・津島地区 〔津島市 七宝町 美和町 甚目寺町 大治町 蟹江町 十四山村 飛島村 弥富町 佐屋町 立田村 八開村 佐織町〕	I 岡崎・額田地区 〔岡崎市 幸田町 額田町〕	M 宝飯地区 〔豊川市 蒲郡市 音羽町 一宮町 小坂井町 御津町〕
C 尾張中部地区 〔西枇杷島町 豊山町 師勝町 西春町 春日町 清洲町 新川町〕	J 衣浦東部地区 〔碧南市 刈谷市 安城市 知立市 高浜市〕	N 豊橋・渥美地区 〔豊橋市 田原町 赤羽根町 渥美町〕
D 尾張西部地区 〔一宮市 尾西市 稲沢市 木曽川町 祖父江町 平和町〕	K 西尾・幡豆地区 〔西尾市 一色町 吉良町 幡豆町〕	
E 尾張北部地区 〔春日井市 犬山市 江南市 小牧市 岩倉市 大口町 扶桑町〕	F 尾張東部地区 〔瀬戸市 尾張旭市 豊明市 日進市 東郷町 長久手町〕	
G 知多地区 〔半田市 常滑市 東海市 大府市 知多市 阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町〕		